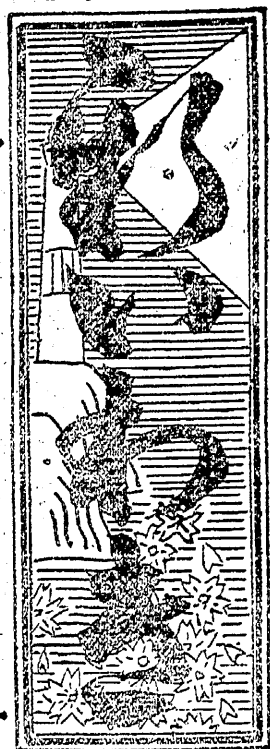


【刊夕日三十月一】



日曜大祭日  
休  
月五廿  
日十五  
月一十  
日一十  
年一十  
日一十  
月一十  
日一十

### 無産者の獨裁政治を 實現運動事件の解禁

#### 平署の取調を受けた四名

共産黨福島支部に於ける海し昨年五月内郷村警備隊  
野幸隆と聯絡を各つて無産の高坂坑を專横無根の休  
者獨裁の共産制社會の實現説を立て、労働者を煽動し  
を目的とした秘密結社の宣傳ビラを撒付せるに續い  
巧みなる進行運動が其筋にて小田炭礦に於ける  
採掘され昨年八月十九日午  
前九時半署の活動下に検舉  
された

石城郡警備隊上湯長谷  
大井川幸隆(一)  
同郡平町字横越小路  
新田直壽(二)  
田村那三春町生れ當時本  
町居住 内藤龜之助(三)  
四名に係る事件は新聞紙の  
掲載を禁止されてゐたが愈  
よ解禁され一味の聯絡を各  
紙に報導されてゐる所であ  
るが平署の取調を受けた  
石三名外一名の

### 犯罪事 實とされる

ものは前記海野との聯絡を  
取つて〇〇黨の機関紙及び  
雜誌を他日同志としての目  
星しき者に配付し只管黨員  
の増殖を圖り是れ等の同志  
獲得の

### 爲めに 在ゆる不手

分子を描いて其養成に腐心  
掘出さ れたので  
平町字横越小路(坑夫  
他を今三十日最高幹部の  
議に於て支給額はまだ詳  
なるらしく尙ほ死者に對し  
て社葬を行はず二月二

### 組合の 再建運動を 起し着々その歩に向はんと してゐたものである

### 石城郡農會の 通常總會

廿日は評議員會  
總會は明廿一日  
石城郡農會では前年度決算  
並に明年度豫算及び事業計  
劃その他に關し三十日午  
時から平町同會事務所  
評議員會を開いたが明三十  
日引續いて總會を開き評  
議員會を経たる各提案を決  
議すると

### 磐城炭礦の慘死者に 扶助料其他一千圓宛

#### 今廿日最高幹部の協議で 會社では來一日に追悼會

石城郡内郷村の磐城炭礦高  
坂坑に於て去廿七日炭柱崩  
ひ作業中大落の爲の慘死  
されたことは確實で當人の  
従前と家庭の状態等による  
原因等及び助産加算並に保  
険料等組合からの給與それ  
に祭料を合せて大體  
平均千 圓(坑夫  
他を今三十日最高幹部の  
議に於て支給額はまだ詳  
なるらしく尙ほ死者に對し  
て社葬を行はず二月二

### 規程額 以上を給與

掘出さ れたので  
平町字横越小路(坑夫  
他を今三十日最高幹部の  
議に於て支給額はまだ詳  
なるらしく尙ほ死者に對し  
て社葬を行はず二月二

平町教育會では來る三月に  
開催する總會に於て名士の  
講演を請ふべく照會中であ  
つた講師は本邦に於ける兒  
童心理學の大家高島平三郎  
氏の承諾を得たので

### 女中奉公は 眞赤な嘘

騙された前借二  
百五十圓の酌婦  
石城郡内郷村の宮字野農達  
出逢次が去る昭和四年五月  
十四日四女まさ(一)を神奈  
川縣横浜市中西區野野人  
周旋業木村正二(二)の世話  
で東京方面の女中に奉公さ  
せたものと信じてゐると最  
近に至り同女が郡内内郷村  
字野野の飲食店下野野まつ

### 平町學校關係の催 高島氏を聘し教育會

#### 三月の雛祭に續いて町内 三學校を聯合する學藝會

平町教育會では來る三月に  
開催する總會に於て名士の  
講演を請ふべく照會中であ  
つた講師は本邦に於ける兒  
童心理學の大家高島平三郎  
氏の承諾を得たので

### 平町教育會では來る三月に 開催する總會に於て名士の 講演を請ふべく照會中であ つた講師は本邦に於ける兒 童心理學の大家高島平三郎 氏の承諾を得たので

### 同會は 當月八日平 第一小學校講堂に於て開催 することになつた尙ほ特別 行事の多かつた一月を終る 學校關係の催は二月に於て は殆んど皆無で三月には と二小學校に於ける 三日の 雛祭が呼び 物で昨年初めて試みた好結 果による二回の催は各生 徒の特等祭壇に飾り保護 を維持して學級を藝會を 行ふ事で更に十日の陸軍

### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

### 遊戯話 方及び朗讀

第一回午後零時から二時迄  
の第二回に唱歌  
遊戯話 方及び朗讀

### 平の人事

平町字横越小路一吉田五平二男昭平  
一月二十三日午後七時

### 入山の私設 消防出初

明三十一日  
グラウンドで

### 審議中

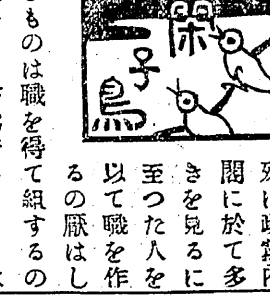
石城郡内郷村の入山炭礦に  
於ける私設消防隊では明廿  
一日午後三時から同團グラ  
ウンドに於て出初式を舉行  
するが平署から係官出張人  
員點呼機械器具の檢閲終つ  
て一反歩に對して最高二圓  
二分列式の後水勢試驗を行  
ふと

### 入山の私設 消防出初

明三十一日  
グラウンドで

石城郡内郷村の入山炭礦に  
於ける私設消防隊では明廿  
一日午後三時から同團グラ  
ウンドに於て出初式を舉行  
するが平署から係官出張人  
員點呼機械器具の檢閲終つ  
て一反歩に對して最高二圓  
二分列式の後水勢試驗を行  
ふと

殊に政黨内  
閣に於て多  
きを見るに  
至つた人を  
以て職を作  
るの厭はし  
きものは職を得て組するの  
嫌ひあるが爲であることは  
云ふ迄もない。近年この傾  
向は獨り内閣のみでなく隨  
所に其の影を止むる官  
公署の少なからざるを見せ  
て來た。其の手近なものに  
平町の日頃であつて曰く某  
の紹介によつて採用され  
たる某の如き悉く組する町  
議の引立によることの多き  
を聞えて遺憾とせざるもの  
ありや。吾人は採用された  
るもの採用したるものにも  
くの不足を云はない唯その  
紹介斡旋に立つた町議と理  
學者に謂所職を得て組する  
ものと類似の行爲あるを憾  
みとするものであるんであ  
る(一有志)



### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

### 節分 満莊壽主人

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)

節分は例年二月四日五日  
の節で陰曆では月日の定ま  
りなきなり此日豆を撒きて  
鬼を追ふと云ふ(公  
金吾除夜進催名  
書袴衣四隊行  
これなり〇此詩に依り又本  
今夜大豆を撒く(拍はや  
は鬼人をとるべからずと  
沙門(びしやもん)の御示現  
る(一有志)



**技術員の設置獎勵** (三)

石城郡農林技術員 橋本市二  
技術員設置の補助額は年  
によつて多少の差はあるが  
大略俸給額の四割見當と見  
ればよい。

各町村はそろ／＼明年度  
豫算編成に着手される筈で  
あるが此の技術員設置につ  
いては十分考慮を拂はれん  
事を望んで止まない次第で  
ある。

時まさに財政緊縮、經費  
約一分の緩みもない事とは  
察するが規程や命令が許す  
範圍内に於て道り繰りをつ  
けて技術員の設置を實現  
されてほしい。

特に考へねばならぬこと  
は不況であればこそ多收獲  
を必要とし改良増殖を企畫  
せねばならぬのである、不  
例なるが故に一層農業の經  
營法を改善研究して農業が  
成立つ様に指導して行かね  
ばならぬのである。

播かの種子は生えぬ無肥  
料では作物も育つて呉れぬ  
とは古くから決まつてある  
農業指導者の爲に設ける經  
費の如きは確かに肥料種子  
とも稱するに足るべく誠に  
大切なものである。

扱て而して設置する方法  
は町村勸業費に舉げるが農  
會に置くかさもなくば補習  
學校専任教員として設置し

之を指導獎勵に當らしむる  
か方法は色々あるが何れで  
もよい其町村の事情に適合  
する様にすればよいのであ  
る。而して愈々豫算が出本  
たなら縣規程に基づいて諸  
種の手續を運ぶと同時に人  
選に掛る譯だが此を選こそ  
は最も慎重を要する假之か  
何なる制度明察も其後には  
によつて成否が岐れるもの  
であるから充分留意せねば  
ならぬ終

元 詰 G.H.N 元 詰  
葡萄酒 葡萄酒  
甘 味 葡 萄 酒  
ゴ ル フ ポ ー ト ワ イ ン  
¥ 1.10  
御婦人の方には少し水を加へて  
召し上るご風味一そう佳真です  
(二平) 西村屋薬舗 (電三)

**看護婦**  
急派の求め  
に應じます  
平看護婦會  
電話三〇七番

驚異的の効果を  
有する婦人薬  
座 藥 美神丸  
内服藥 美神湯  
婦人病に悩む人  
々に一度は實驗  
を勧む  
平町代理店 平町五丁目角  
山野邊藥局

ふゆの通學服  
斷然特賣の超尖端  
小學生用長ズボン付  
特 製.....95錢ヨリ  
極上品.....140錢ヨリ  
中 學 生 用  
特 製.....170錢ヨリ  
極上品.....250錢ヨリ  
買 良 店  
5 丁 目  
モリタヤ洋品店  
電 話 2 5 3 番

よろこびますか  
うチりますか  
中島寫眞館  
平町字田町

平屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

味の醬油  
正宗  
鐘詰鯉節  
山崎會社  
醸造部 二七番  
營業部 一〇番  
御進物には  
商品切手

諸毒下しの大妙藥  
安流丸  
持山野邊藥局

鶴 印  
最 特  
中 製  
大鶴屋菓舖子  
平町字電九七番

平町  
藤沼醫院  
電話七〇五番  
冬物入荷  
伊関吳服店

安價に  
迅速に  
遠藤活版所  
電話二七七番

磐城  
病院案内  
本院は時局に鑑み入院  
料並に往診料左の通り低  
減致候間御参考迄申上候  
一 入院料 一般 金貳圓也  
本合員金壹圓五十錢  
往診料 限一、一般金三圓也  
限二、本合員金二圓也  
尚地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也

各 科  
専門醫  
増 當  
× 光線科 (物理學的診療科)  
院長 醫學博士 難波 睦  
本院主管 賀澤 忠 治  
本院 (本院) 救療を申込る、方は當  
本院 (本院) 相談所へ御話し下さい

産婦 婦人科  
皮膚泌尿科  
整形外科  
内服外科  
耳鼻咽喉科  
女子泌尿科

看 護 婦 集  
磐城共濟會 (電話六四一番)